

■夢の実現へ リニア中央新幹線 ⑧1
市内高校生によるリニアの取り組み

「リニア中央新幹線」計画についてシリーズでお伝えしています。

今月は、市内の高校生によるリニア中央新幹線への理解と関心を深める取り組みをご紹介します。

問 リニア対策課（☎内線214）

中津川工業高校の取り組み

中津川工業高校では、平成29年11月3日に開催された仰星祭（文化祭）で、リニアPR用の缶バッジを製作しました。

これは、

来校者に缶バッジを作っていた体験コーナーで、例年は自作イラストを使って作成していましたが、今回はリニア中央新幹線イラストを追加し、多くの人が参加していただきました。



体験コーナー（仰星祭）

中津川工業高校は、市内ではリニア駅から一番近い高校になります。2月には、専門高校生地域連携推進事業合同発表会で参加した中学生に配布し、中津川市や坂本をPRしました。

坂下高校の取り組み

坂下高校では、平成29年11月5日に東美濃ふれあいセンターで行なわれた健康福祉まつりで「みんなで作ろう プラ板キーホルダー」をテーマに出展しました。

「プラ板キーホルダー」は、透明のプラ板シート（PET板）に油性のペンで絵を描き、端に穴をあけ、オーブントースターで2〜3秒加熱してシートを収縮させた後、平らなもので圧縮して冷まし、穴にストラップを通して作ります。

当日は、用意した図案を使ったり、



缶バッジ

オリジナルの絵を描いたりして、幼児から高齢者まで、約100人がプラ板作りを楽しみました。また、小さなお子さんなど作成ができなかった方には、生徒が作成したプラ板をプレゼントしました。



健康福祉まつりでの様子

参加した生徒からは、「一人でも多くのみなさんに2027年に開通するリニア中央新幹線に関心をもってもらいたいだけだと思います、リニアの図案の説明や坂下高校の活動についてお話しするように心がけました」「子どもから高齢者の方まで、多くの方に参加していただき、みなさんとても楽しそうに作ってくださいって喜んでいただくことができました」などの感想が聞かれました。

また、イベントにさきがけ、全校生徒にプラ板講習会を行い、「リニア

アのまち中津川」をアピールするイラストを募集して、市内の観光地やイベント会場で配布するためのイラスト入りプラ板を作成しました。今後もこの活動を続けていきたいと話してくれました。



プラ板キーホルダー

これらの市内高校生による取り組みは、リニア中央新幹線「アのまち」づくり推進中津川市民の会の助成を受けて実施されました。



リニアのまち（健康福祉まつり）